

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	産科・周産期科による鉄剤代行入力の有用性の評価
研究責任者	坂田 友美(3年目)、山本 圭祐、佐原 百合名、杉山 奈々美
研究実施体制	聖隷浜松病院 薬剤部
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2020年 3月31日
対象者	当院産科・周産期科に入院した全患者(2016年5月17日~2019年6月17日)
研究の意義・目的	妊娠により母体は鉄欠乏性貧血になりやすく、食事療法で改善しない場合には薬物治療を必要とする場合があります。加えて、分娩時の出血は避けられないため、産後一時的に貧血症状を呈することがあります。そのため、産後貧血を呈する方に病棟専任薬剤師による貧血治療支援に関するプロトコールを作成し実施しています。 本研究では、貧血治療支援に関するプロトコールによる有用性と業務負担の軽減について調査することを目的としております。
研究の方法	貧血治療支援に関するプロトコールによる開始前群と開始後群に関して下記の項目について比較する。 ・退院直前と退院後外来検診時のHb値の差 ・フェルム・クエン酸第一鉄の処方割合
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 (氏名)坂田 友美 TEL:053-474-2222(代表) 薬剤部 9:00~17:00 平日